

海岸通地区における子育て支援施設整備事業について

1. 概要

東日本大震災により水害被害を受けた子育て支援センター「こころん」の安全性の確保、また地盤沈下による建物被害が大きく、暫定補修し供用している新浜町保育所について、復興交付金を活用し、海岸通地区に複合化・多機能化を図り、包括的な子育て支援を担う「子育て支援施設」として集約を行い整備します。

子育て支援施設については、下記の整備方針のもとに復興庁（宮城復興局）と協議を重ね、復興交付金事業計画（第 17 回）を国へ提出しました。

【整備方針】

- (1) 海岸通 1 番 2 番地区震災復興市街地再開発事業にとってより効果の高い施設
- (2) 中心市街地という立地から海岸通地区周辺の賑わいに貢献できる施設
- (3) 復興交付金を活用できる施設

2. 経過

平成 26 年 9 月	子育て支援施設についての検討開始
平成 28 年 5 月	宮城復興局と協議開始
8 月	復興交付金策定支援会議（復興庁）
10 月	塩竈市子ども・子育て会議
11 月	民生常任委員協議会で経過報告
12 月	復興交付金策定支援会議（復興庁）
平成 29 年 1 月	復興交付金事業計画（第 17 回）を提出 塩竈市子ども・子育て会議

3. 計画概要

名称	子育て支援施設
位置	塩竈市海岸通 1 番地内
構造・規模	鉄筋コンクリート 2 階建て
延床面積 (子育て支援施設)	590 m ² (外園庭 220 m ²) 1 階：相談室、エレベーターホール等 70 m ² (他商業スペース) 2 階：子育て支援施設 440 m ² 子育て支援センター (60 m ²)、 保育所・一時預かり室 (140 m ²) 共有プレイエリア・厨房・事務室等 (240 m ²) 屋上：エレベーター・倉庫等 80 m ² (外園庭 220 m ²)
* 面積は概数です。	
定員	保育所 40 名 一時預り保育 10 名

2、保育提供量について

新浜町保育所を除いた、現在の認可保育所の保育提供量は、655名です。

また、認可外保育所の保育提供量は、68名ですが、市外の児童も受け入れています。そのため平成28年度の市外の利用者の利用率（28%）を考慮し、市内の保育提供量は48名とします。

総保育提供量は、D表のとおり、認可保育所提供量655名と認可外保育所提供量48名を併せ703名です。

D表 新浜町保育所を除いた提供量

①認可保育所(定員数)	655
②認可外保育所(定員数*H28 市外利用者実績割合)	48
①+②	703 d

3、子育て支援施設の定員について

平成31年度に子育て支援施設で必要とされる保育提供量は、D表（新浜町保育所を除いた提供量）703名とC表（上方修正した平成31年の保育ニーズ量）743名の差、40名となります。

以後、少子化の影響からこれ以上の保育需要の伸びを予想せず、40人を定員として海岸通地区における子育て支援施設を整備します。

4. 今後のスケジュール

平成 28 年	2 月	新浜町保育所保護者説明会
	3 月	復興交付金事業計画（第 17 回）採択予定
平成 29 年度		設計
平成 30 年度		着工・業務棟の一部を取得
平成 31 年度		竣工
平成 32 年度		供用開始

5. 定員の考え方 別紙のとおり

海岸通地区における子育て支援施設の定員について

1、現在の保育ニーズについて

平成28年4月1日の保育ニーズについては、A表のとおり①認可保育所入所児童692名、②認可外入所児童28名③未入所の児童（待機児童の定義にない申込者（保護者が求職中の方、特定の保育所のみを希望している方等））が63名で全体ニーズが783名となります。

A表 平成28年4月1日の保育ニーズ 単位:人

①認可保育所入所児童数	692
②認可外保育所施設入所児童数	28
③未入所の児童数(待機児童の定義にない申込者数)	63
①+②+③	783 a

新のびのび塩竈っ子プラン計画に定める保育ニーズ量（以下「プラン保育ニーズ量」という。）は、B表のとおりです。

3.4%ニーズが高い

B表 プラン保育ニーズ量 単位:人

平成28年度	757 b
平成29年度	744
平成30年度	735
平成31年度	718

A表の平成28年4月1日の保育ニーズ（a）と、B表の平成28年のプラン保育ニーズ量（b）には開きがあり、約3.4%保育ニーズが高い状況です。

そのため、現況に合わせプラン保育ニーズ量をそれぞれの年度で、C表で3.4%上方修正します。

3.4%上方修正

C表 平成28年度のニーズに合わせプラン保育ニーズ量の上方修正（B表 × a/b）

平成29年度	770 c
平成30年度	760
平成31年度	743